



透析患者用低カリウムメロンの生産と、本当に環境に優しい養液栽培技術の研究

生物資源科学部 教授 浅尾 俊樹

本研究室では透析患者用低カリウムメロンの研究開発を進めています。糖尿病等で腎臓機能が低下した慢性腎臓病患者は余分なカリウム等を体外に排出することができないために、週に3回、数時間をかけて人工透析を受ける必要があります。食事の上でも厳しいカリウム制限を受け、カリウムを多く含むメロンは食べてはいけないもののひとつです。食べたいのに食べられない、そのような生活を送っています。そこで、透析患者でも食べることができる低カリウムメロンの研究開発をしています。

また、植物の根から様々な化学物質が出ています。その濃度が上がると根からの養水分吸収阻害を起こします(自家中毒)。レタスは環境保全、経済的理由から培養液を循環利用していますが、連作をすると生育、収量が低下し、培養液をこっそり廃棄して栽培を続けています。実は環境に優しくない栽培をしています。そこで、抑制物質を除去する養液栽培用電気分解装置を研究開発し、本当に環境に優しい養液栽培を進めています。

